

令和3年7月の労働市場の動き

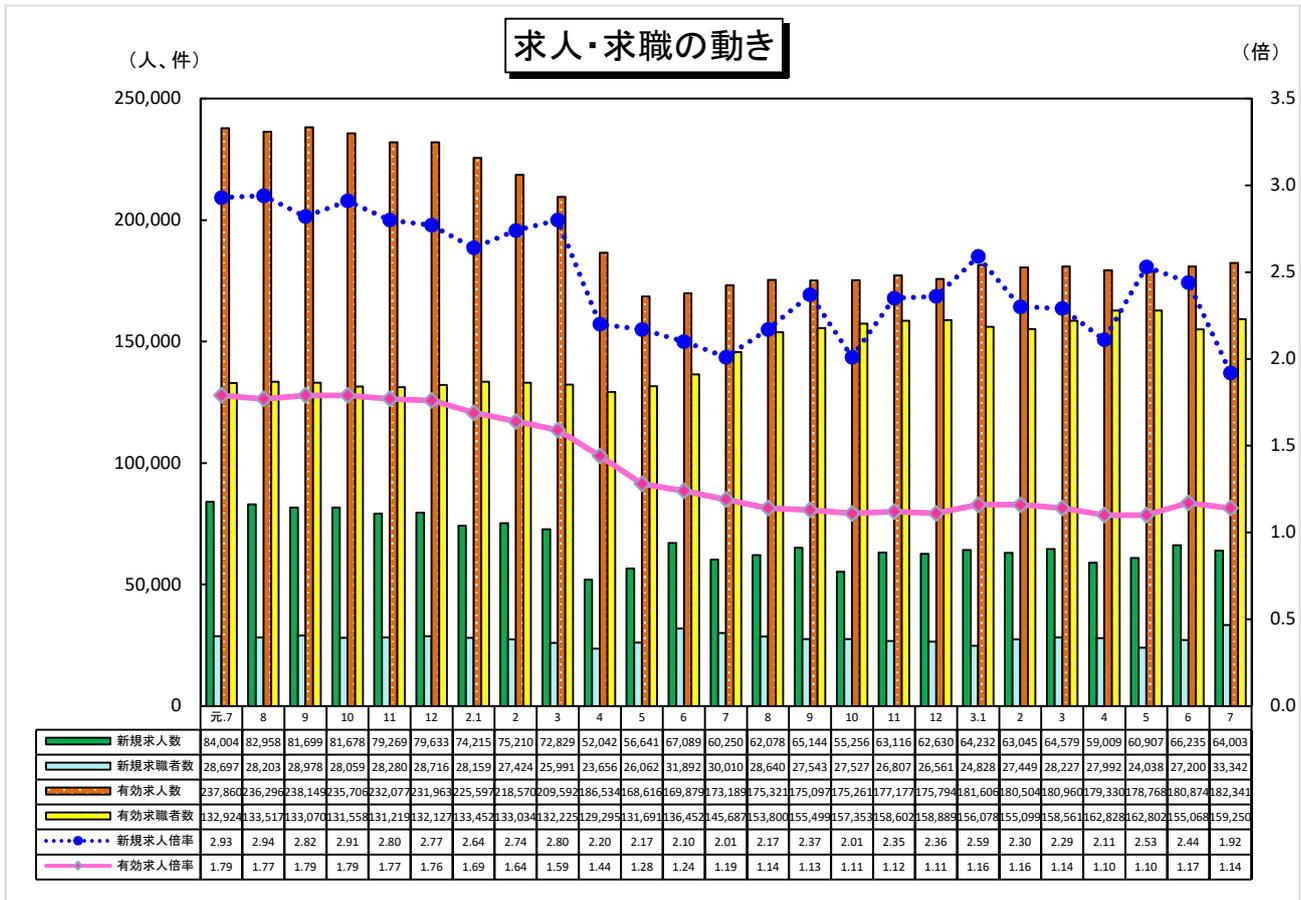
(求人倍率)

- 大阪府の令和3年7月の有効求人倍率(季節調整値)は**1.14倍**と、前月より**0.03ポイント**低下し、3か月ぶりの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は**1.92倍**となり、前月より**0.52ポイント**低下した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.94倍(前月より0.02ポイント低下)と12か月連続で1倍を下回っている。

(求人・求職の動き)

- 7月の新規求人数(季節調整値)は前月比**3.4%減**となり、有効求人数(同)は前月比**0.8%増**となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比**22.6%増**となり、有効求職者数(同)は前月比**2.7%増**となった。
- 7月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると**3.1%増**となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比**2.8%増**)、製造業(同**31.4%増**)、情報通信業(同**33.0%増**)、運輸業、郵便業(同**3.0%増**)、卸売業、小売業(同**1.3%増**)、学術研究、専門・技術サービス業(同**1.6%増**)、宿泊業、飲食サービス業(同**6.4%減**)、生活関連サービス業、娯楽業(同**0.8%増**)、教育、学習支援業(同**13.0%増**)、医療、福祉(同**2.1%増**)、サービス業(他に分類されないもの)(同**0.7%増**)と**宿泊業、飲食サービス業を除いて増加**となった。



(注) 各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。